

公益財団法人昭瀝記念財団

事業報告

第3期

(2020年2月1日から2020年6月30日まで)

1. 事業の概要

(1) 奨学事業

① 2020年2月1日から2020年3月31日まで

第1回の奨学生30名に対し、一人当たり月額2.5万円の奨学金を支給した（第3期における支給額：月額2.5万円×30名×2ヶ月＝150万円）。

第1回奨学事業 応募・採用状況		
学年	応募者数	採用者数
大学2年生	5名	3名
大学3年生	5名	2名
大学4年生	19名	14名
大学院1年生	5名	4名
大学院2年生	4名	3名
大学院博士後期課程	5名	4名
合計	43名	30名

なお、当該事業の実施に際しては、指定校制を採用し、長岡技術科学大学（新潟県）、日本大学（東京都）、福岡大学（福岡県）、中央大学（東京都）、近畿大学（大阪府）の5校を指定校とし、当該指定校の理工学を学ぶ大学生・大学院生を奨学生の対象とした。

② 2020年4月1日から2020年6月30日まで

第2回の奨学生30名に対し、一人当たり月額2.5万円の奨学金を支給する（第3期における支給額：月額2.5万円×30名×3ヶ月＝225万円）。

第2回奨学事業 応募・採用状況		
学年	応募者数	採用者数
大学2年生	4名	3名
大学3年生	7名	5名
大学4年生	15名	10名
大学院1年生	8名	8名
大学院2年生	1名	1名
大学院博士後期課程	3名	3名
合計	38名	30名

なお、指定校については①と同じである。

(2) 助成事業

第1回の研究助成対象4件に対し、1件当たり年間100万円の助成金を支給した（第3期における支給額：100万円×4件＝400万円）。

第1回研究助成対象		
氏名	所属機関等	研究題目
小泉 圭吾	大阪大学大学院工学研究科・助教	路面下空洞の陥没危険度評価のための簡易な動的変位測定手法の検討
鍋島 康之	明石工業高等専門学校・都市システム工学科・教授	溶融スラグ混合アスファルトの表面処理による夏季路面温度低下に関する研究
麓 隆行	近畿大学・理工学部・准教授	X線CT画像を用いた排水性アスファルト平板供試体内部の流れに関する考察
山本 亨輔	筑波大学・システム情報系・助教	迅速かつ低コストな車両・橋梁・舗装の同時点検システムの理論構築

(3) 財団の広報活動

当財団の実施する事業が広く一般に認知されるように、ホームページ

(<https://www.shoreki.co.jp/zaidan/>) の記載内容の充実を図った。

また、大学関係者に対しては、学内への周知を依頼し、優秀な学生からの奨学生の応募、優秀な研究者からの研究助成の応募が得られるように、積極的に働きかけた。

2. 第3期の会議の開催状況

(1) 第10回理事会（決議の省略の方法による）・・・2020年2月21日

- ① 2019年度（第3期）事業計画等の承認・・・承認
- ② 不動産賃貸借契約書の承認・・・承認
- ③ 寄附申込確約書の承認・・・承認

(2) 第2回奨学生選考委員会・・・2020年6月19日

- ① 2020年度用学生選考基準の承認・・・承認可決
- ② 2020年度奨学生の選考・・・承認可決

(3) 第11回理事会・・・2020年6月19日

- ① 2020年度奨学生の決定の承認・・・承認可決
- ② 2020年度（第4期）事業計画等の承認・・・承認可決
- ③ 内部規程（奨学金規程）改定の承認・・・承認可決
- ④ 2021年度奨学金募集要項の承認・・・承認可決
- ⑤ 2021年度研究助成金募集要項の承認・・・承認可決

以上

公益財団法人昭瀝記念財団

事業報告の附属明細書

第3期

(2020年2月1日から2020年6月30日まで)

第3期事業報告において、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」はない。